

一般財団法人 Ruby アソシエーション

2015年度 第2回通常理事会議事録

開催日時 2016年3月29日(火) 14:00~15:00

開催場所 松江：オープンソースラボ (松江市朝日町478番地18 松江テルサ別館2階)

東京：セールスフォース様オフィス (東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー12階)

理事総数 6名

出席理事 5名 松江：松本行弘(理事長)、井上浩(副理事長)、山根泉(理事)

東京：笹田耕一(理事)、橋本明彦(理事)

出席監事 今岡正一

事務局：前田修吾(事務局長)、横田早百合(事務局員)、徳永翔二(事務局員)、江角俊秀(事務局員)

オブザーバー：森脇直則(まつえ産業支援センター)、佐藤文昭(まつえ産業支援センター)

定款第39条の規定により出席理事から井上浩副理事長を議長として選出し、井上副理事長が議長席につき、当財団の理事現在数6名中、定款第40条第1項及び第2項の規定に従い、議長を含め議決に加わることのできる理事5名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨を宣し、テレビ会議システムにより出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認のうえ議事に入った。冒頭、松本理事長より有意義な財団事業の実施に向け本日の活発な協議を期待する旨の挨拶があった。

■審議事項

審議事項1：「2016年度事業計画及び事業予算」

定款第7条第1項に基づき、議長の指名により横田事務局員が2016年度事業計画及び事業予算の説明を行った。事業計画及び事業予算について2016年1月28日に開催された臨時理事会以降の変更点及び修正点について説明が行われた。

事業計画

- ・ 2 実施事業 1) Ruby 開発及び、その他支援事業の (2) その他の助成 を追加
- ・ 2 実施事業 2) 情報発信事業 (1) Ruby 情報提供 の ③教育分野での Ruby 活用 を追加
- ・ 2 実施事業 2) 情報発信事業の (5) 宣伝広報活動を修正
- ・ 2 実施事業 3) Ruby 技術者認定試験事業 に海外展開、学割について追記

事業予算

- ・ 上記の事業計画の変更点及び修正点を事業予算にも反映させた。

審議の後、議長がこれについての承認を求め、全員異議なくこれを承認した。

■協議事項、その他

協議事項1：「Ruby 技術者認定試験の受験者数増に向けての取り組み」

議長の指名により徳永事務局員が、IT 試験に関する市場環境の調査を踏まえ、学割料金の改定、英語版 Gold 及び多言語提供の計画などの取り組みについて説明を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

協議事項2：「公募型開発プロジェクト及びその他の助成について」

議長の指名により徳永事務局員が、公募型開発プロジェクト及びその他の助成について、2016年度事業予算からの増額分の使途計画の説明を行った。

議場からは、以下の意見があった。

笹田理事：採択後のフォローアップが不足しているのでは、例えば、メンターを付ける、定期的な会議を実施する、プロジェクト管理責任者による評価・報告体制を設けるなどが必要ではないか。あるいは、採択件数を増やすという使途もあるかと思う。また、成果に関する報告についても、ビジネスセミナーに発表者として招待したり、他カンファレンス等での発表の支援などを行えばよいのではないか。

前田事務局長：現状は各プロジェクトにメンターを付けるという想定で予算を組ませていただいているが、今後助成委員会とも協議しつつ進めていこうと考えている。

徳永事務局員：その他助成については、使途を限定しない助成金の申請窓口を用意して応募していただくということを考えているが、具体的な運営方法については今後検討していく。

協議事項3：「理事会、評議員会の開催について」

議長の指名により徳永事務局員が、理事会、評議員会の開催について、理事会と評議員会の定款上の役割をより明確にした上での開催提案の説明を行った。

・現状「6月：通常理事会、定時評議員会 1月：臨時理事会 3月：臨時評議員会、通常理事会」というかたちで開催しているが、「6月：通常理事会、定時評議員会 3月：通常理事会」に変更し、3月の臨時評議員会に代わるものとして有識者会議を、その他必要に応じて臨時理事会、臨時評議員会を開催するというかたちを考えている。

・定款上の評議員会の役割及び権限を考慮すると、3月に開催されている「臨時評議員会」という名目は正確ではないため、より内実にあった名目（「有識者会議」）への変更を意図している。

議場からは、「有識者会議」という名目にする中で生じ得る変更点について議論があり、ここでの議論内容をもとに今後の方向性の検討を引き続き行うこととなった。

その他、議場から以下の意見があった。

笹田理事：Ruby アソシエーションが提供できる価値や活動ビジョンが対外的にうまく伝わっていない印象があるので、そのあたりをもう一度再確認することと、その上で広報を行うことが必要だと考える。また、Ruby アソシエーションに求めていることについて評議員の方々などにアンケートを実施してもよいのではないか。

以上この議事録が正確であることを証するため、定款第43条の規定により、代表理事理事長（松本行弘）と出席監事（今岡正一）は、次に記名押印する。

2016年3月29日

上記の通り相違ありません。

一般財団法人 Ruby アソシエーション

代表理事理事長 松本 行弘



監事 今岡 正一

